小平中学校　学習に関する瓦版
NO22
平成28年 2月 4日（木）発行
文責：川野邉勝也

学びのススメ

県学力調査の結果から

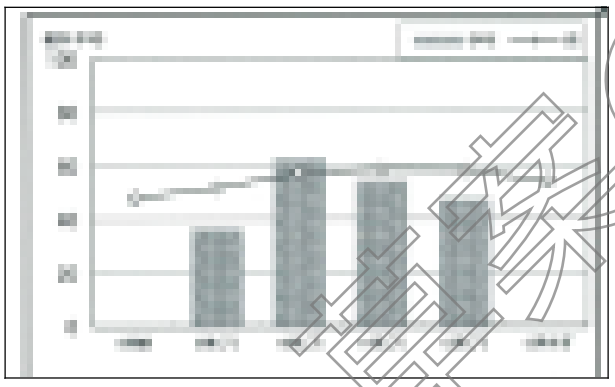
過日，１１月に行われた中学２年生対象の「福島県学力調査」の結果が公表されました。

本校においては，平均正答率で国語が目標値･県平均を上回りました。また，数学･理科･英語においてもあと一歩で目標値･県平均に届くという結果でした。この調査に向けて対策･準備をしてきたことが一定の成果につながったと感じています。

現在，結果の分析をし，今後の指導に生かせるよう準備をしているところです。また，村，県レベルで会議･研修会も行われ，今後の対策について協議をしてきました。

その中で，意識調査と正答率の関係において興味深いデータがありましたので2回に渡って紹介します。まず今回は，生活習慣編です。

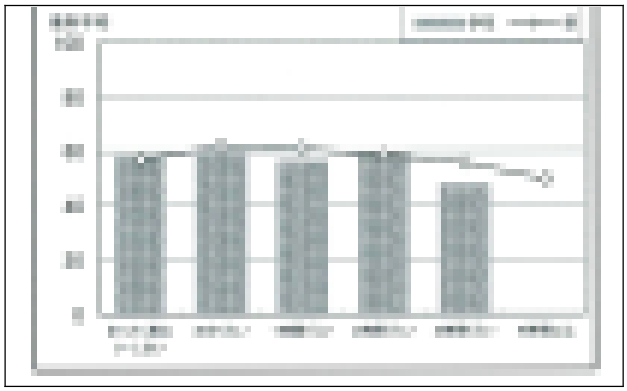
［平日は，何時ごろ寝ますか。］



《考察》

・１０時ごろと解答した人の正答率が高いことが分かります。
・９時ごろと解答した人の正答率が低いです。これは，十分な学習時間が確保できていないということが原因ではないでしょうか。
・遅すぎるのもよくないことが分かります。（12時ごろ）

［平日，1日どれくらいの時間，テレビやＤＶＤを見たり，ゲームをしたりしますか。］



《考察》

・平日１日に３時間以上，メディアに触れたり，遊んだりしている人の正答率が低いことが分かります。（当然と言えば当然な結果です。）
・小平小，中で同じような傾向にあります。遊びの時間を少しずつ減らし，学習時間にあてる努力をする必要がありそうです。

これらのデータから，生活習慣が学力に少なからず影響を与えていることが読み取れます。逆に言うと，これらを改善すれば，学力が伸びるかもしれないということです。

１･２年生においては，学年末テストに向けての取り組みが始まりました。学習を頑張ることはもちろんですが，生活習慣を見直すことで変わってくることもあるのではないでしょうか。特に家庭での「遊び時間」を見直しましょう。

事務局